

# Materiality マテリアリティ

野村を取り巻く外部環境を踏まえ、ステークホルダーの皆様のあらゆる「豊かさ」の実現に大きな役割を担う存在として、野村自身の企業価値向上のみならず社会的価値創造との関係において、重点的に取り組むべき課題をマテリアリティとして特定しています。

野村グループでは、2008年に「CSRの重要課題」を策定・公表して以来、世界の動きやステークホルダーの声を踏まえながら、その内容を見直してきました。環境や社会課題に配慮したビジネスモデルの確立が求められるなか、サステナビリティと経営戦略の関連性を意識し、2019年度より、「野村グループのマテリアリティ」と改め、外部環境認識を踏まえたうえで、重点的に取り組むべき課題を特定しています。

マテリアリティの内容は外部環境の変化を踏まえ毎年見直すこととしており、本年も外部環境に対する下記の認識に基づき、マテリアリティの見直しを行いました。

## ▶ 世界情勢の変化

各国の金融政策・市場の動向や、地政学リスクの高まりにより、変化が速く予測の難しい世界情勢が続く

## ▶ 環境を含む自然資本への脅威

自然資本への対応は引き続きグローバルな潮流である一方、産業政策とのバランスを意識する重要性が高まっている

## ▶ デジタル、AI技術の進歩と脅威

セキュリティレベルの確保による安全の提供を前提とするデジタルやAIの活用による経済構造の変化が発生している

## ▶ 少子高齢化をはじめとする日本国内環境の変化

社会構造の変化に起因したお客様のビジネス活動やニーズの変化にあわせたソリューションの提供が必要となる

## ▶ DEI/人権、人的資本への意識の高まり

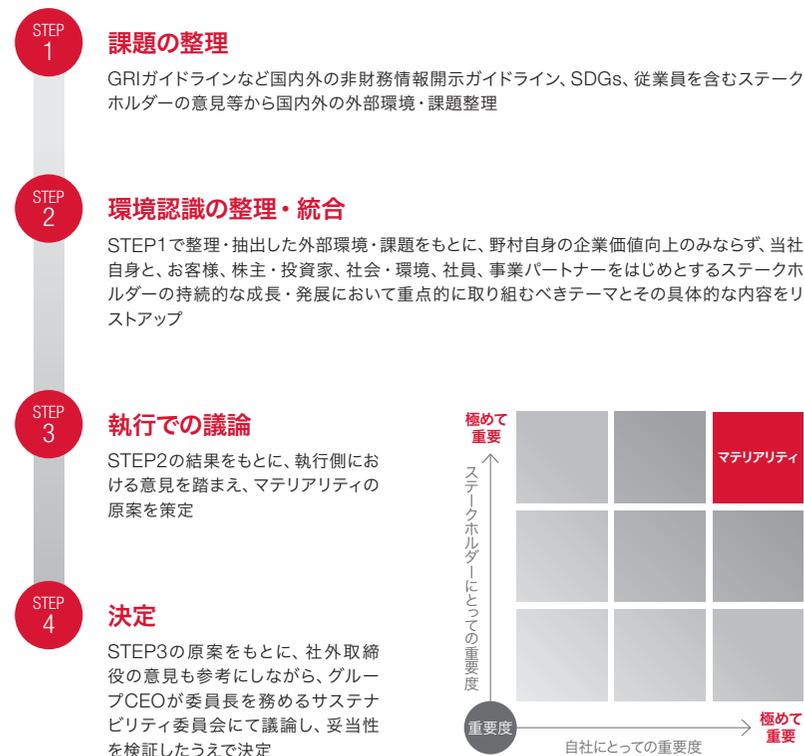
健全な職場環境の構築、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進、ビジネスにおける人権配慮、人的資本活用の要請が高まっている

## ▶ ガバナンス高度化の要請

コーポレート・ガバナンスの高度化、取締役会の機能強化の要請水準が高まっている

## ● マテリアリティ特定のプロセス

当社では、毎年、以下のプロセスに基づきマテリアリティの特定・決定を行っています。



▼ 私たちを取り巻く環境とリスク・機会の認識

▼ 取り組むべき課題と内容

▼ 主な関連項目／関連指標

世界情勢の変化	リスク	リスク管理が不十分な場合やお客様のニーズに対応できない場合等において、損失の発生や収益機会の喪失が生じうる	<b>健全なリスクマネー循環の創出</b> 世界情勢・市場環境の変化、お客様の状況・ニーズの変化に対応できる金融商品、サービスの提案・提供を通じた健全なリスクマネー循環を生み出します >> 多様な金融商品・サービスの開発・提供 >> プロダクト・ガバナンスの強化 >> 金融リテラシー向上の機会提供	各種ビジネスにおける取り組み >> ウェルス・マネジメント部門 > P.41 >> インベストメント・マネジメント部門 > P.45 >> ホールセール部門 > P.49
	機会	金融政策の転換や投資家のニーズ変化を適切に捉えることによる収益機会、ビジネス機会の拡大		
環境を含む自然資本への脅威	リスク	取引先の信用リスク、マーケット変動のリスク、災害等による物理的な損害を受けるリスク、レピュテーションリスク等	<b>自然資本保全への取り組み</b> > P.60, P.61 自社環境活動や事業構造・構造転換の支援を通じた自然資本保全への取り組みに積極的に貢献します >> 自社環境活動の促進 >> 再生可能エネルギー事業への関与 >> 気候変動を含む自然資本に対するリスク・機会の分析 >> サステナブル・ファイナンス等のソリューション提供	>> GHG排出量 >> サステナブル・ファイナンス関与額 >> ペーパーレス進捗状況
	機会	脱炭素を含む自然資本への危機の緩和と適応に必要なリスクマネーの供給（金融資本市場、プロジェクトファイナンス、M&Aなど）		
デジタル、AI技術の進歩と脅威	リスク	オンライン取引による取引手数料水準の低下にともなう取引機会喪失・減収リスク、サイバーセキュリティ欠陥による信用の低下	<b>戦略的、革新的なサービス開発と強固なサイバーセキュリティ対応</b> > P.57, P.93 デジタル戦略の強化により、お客様の利便性の向上、サービス領域の拡大に取り組みます >> デジタルプラットフォームの活用 >> デジタル・AIの活用による業務効率化 >> サイバーセキュリティ体制の高度化 >> デジタル・アセット領域ビジネスの追求	>> デジタル人材育成 >> デジタル・アセットへの取り組み >> サイバーセキュリティ・プログラム
	機会	デジタル技術、AIの活用による業務効率化・サービス最適化、デジタル・アセット領域のビジネスの推進		
少子高齢化をはじめとする日本国内環境の変化	リスク	少子高齢化等の社会の変化を捉えきれず、多様性等への配慮不足や適切なサービスの不足によるお客様との取引の流出・機会損失	<b>環境変化により生じる社会課題へのソリューション提供</b> > P.41, P.64, P.65 日本国内環境の変化を見極め、野村グループの知見を活かした課題解決のためのソリューションを提供します >> 円滑な資産・事業承継のサポート >> 多様な資産管理方法の開発・提供 >> エマージング・ウェルス層への提案強化 >> 幅広い世代への金融リテラシー向上の機会提供 >> 社会貢献活動の取り組み	>> お客様本位の業務運営に向けた取り組み >> 金融経済教育提供状況 >> 社会貢献活動実績
	機会	お客様のビジネス活動やニーズに沿ったソリューションを提供することによる、新しい収益機会の創出		
DEI/人権、人的資本への意識の高まり	リスク	過重労働等による行政処分や賠償金の発生・レピュテーションリスク・社員の士気低下、人材流出や人材が確保できないことによる戦略遂行の停滞、多様性不足による環境変化への対応力不足	<b>挑戦を支える、貢献が報われる、働きやすさを感じる組織の実現</b> > P.53, P.66 人権が尊重され、多様な人材がその能力を發揮できる社会の実現に取り組みます >> 教育研修機会の提供 >> 多様な働き方の実現 >> 健康経営の促進 >> 福利厚生充実 >> 公平な機会提供 >> 人権尊重への取り組み	>> 従業員サーベイ結果 >> 研修受講状況 >> 育児休業等の制度利用状況 >> 女性管理職比率
	機会	多様な人材による競争力の向上や他社との差別化、イノベーションの促進、高度なリスク管理の実現		
ガバナンス高度化の要請	リスク	ガバナンス機能が發揮されないことによるガバナンス機能不全、レピュテーションリスク等	<b>コーポレート・ガバナンス機能の更なる発揮</b> > P.68, P.85, P.89 社会から信頼される存在になるためガバナンスの高度化に努めます >> 取締役の多様性 >> リスク管理の高度化 >> 取締役会の実効性強化 >> 法令順守の徹底 >> 情報開示の高度化・拡充	>> 取締役会の実効性評価 >> 行動規範の浸透状況 >> 声を上げる文化の醸成
	機会	リスク管理の更なる高度化、構造改革を通じたコスト削減の推進等による企業価値の向上		

世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現

